

今週（2月4日から2月8日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週のインターバンク市場は、積み最終日を来週に控えていることから、積みの進捗を意識した動きとなり、日を追う毎に調達レートが上昇していく展開となった。日銀当座預金残高は週を通して370兆円台後半で推移した。無担保コールO/Nは、週初4日の税揚げ要因から強含みの地合い。邦銀を中心に幅広いネームからビッドが入り、一巡後もビッドが残る展開となった。以降は日を追うごとにレートが上昇。テイクン地合いとなり、O/N加重平均レートも週初▲0.06%台から週末にかけて▲0.04%台へと上昇することとなった。週を通して複数行の試し取りが実施されたことも、レート上昇要因となった。ターム物に関してはビッドこそ見られるものの、応じるオファーが薄く、目立った出合いは見られなかった。

固定金利方式の共通担保オペは8日に2W・8,000億円がオファーされ、落札額3,325億円(期落ち額7,015億円)となった。

●レポ市場

今週のO/N GCは、▲0.095～▲0.075%のレンジでの取引となった。週を通して投資家の売りが入り、レートはしっかりの展開であった。

SCは個別銘柄では5y133～138、10y334～353、20y164～167、30y57～61、40y11などのカレント銘柄近辺や、チーベスト周りの銘柄にビッドが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、引き続き3月末越えの銘柄を中心に堅調なマーケットとなったものの、業者の在庫の積み上がりや足元のファンディングレートが上昇したこともあってか、週の後半には小甘く推移する局面も見られたものの、週末の引けにかけては、買入オペ期待からか全般的に強含みで推移した。

5日に実施された短国買入オペは、2,500億円（前回と同額）でオファーされた。応札額が11,167億円と多く、平均落札利回較差+0.036%、按分落札利回較差+0.015%と、引け値の低い銘柄の在庫調整の売りから弱めの結果となった。

7日に実施された6M物の入札は、WI取引において▲0.205%から一時▲0.240%まで買い進まれ、最終的に▲0.230%出合いで引ける展開となったものの、平均落札利回▲0.2043%、按分落札利回▲0.1943%と落ち着いた結果となった。結果発表後のセカンダリーマーケットでは、▲0.210～▲0.193%での出合いと按分レート近辺で推移した。

8日に実施された3M物の入札は、WI取引において▲0.210～▲0.205%で出合う展開となる中、平均落札利回▲0.2158%、按分落札利回▲0.2012%と前回債からレートが上昇する結果となった。結果発表後のセカンダリーマーケットでは、新発3M物が▲0.210%から▲0.230%まで買い進まれるなど、全般的に強含みで推移している。

●CP市場

今週のCP市場は、月初ということもあって案件も少なく、週を通して落ち着いたマーケットとなった。残高は週間償還総額5,000億円程度に対して、発行総額も5,000億円程度とほぼ変わらずであった。7日時点の市場残高は21兆1,239億円と一般事業法人を中心に高水準で推移している。期内物のレートは、発行量の多い銘柄では足切りレートが浅いプラス圏まで上昇する銘柄も見られ、発行量の少ない銘柄でもマイナス幅を縮小しての決着が中心となった。但し、期越え物については、期末の市場残高減少を見込んだ投資家・ディーラーの買いニーズから浅いマイナスでの決着が中心であった。

5日にはCP等買入オペが事前予定通りの2,000億円がオファーされた。月末大量発行の後で比較的売りニーズが強い中、オファー額が前回から500億円減額されたものの、按分落札レート▲0.001% 平均落札レート▲0.001%と按分レートは前回（按分▲0.001% 平均+0.004%）比横ばいとなった。

●短期金融市場関連指標

	日経平均 (円)	新発10年物 国債利回り (%)	為替 (ドル/円中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート(翌日物・ T+1スタート・%)	日銀当座預金残高 (億円)
2/4 (月)	20,883.77	△ 0.015	109.53	△ 0.061	△ 0.096	3,783,100
2/5 (火)	20,844.45	△ 0.015	109.99	△ 0.058	△ 0.093	3,792,900
2/6 (水)	20,874.06	△ 0.020	109.75	△ 0.052	△ 0.083	3,768,700
2/7 (木)	20,751.28	△ 0.015	109.88	△ 0.049	△ 0.087	3,777,000
2/8 (金)	20,333.17	△ 0.031	109.80	△ 0.047	△ 0.089	3,769,300

来週（2月12日から2月15日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
2/11 (月)	建国記念の日				10-12月期の英GDP速報値
2/12 (火)	1月のマネーストック(日銀 8:50) 12月の第3次産業活動指数(経済産業省 13:30)				1月の米財政収支 (延期)
2/13 (水)	1月の企業物価指数(日銀 8:50)	5Y 20,000億円 2/14発行			1月の米消費者物価指数 12月の米財政収支 1月の英消費者物価指数
2/14 (木)	10-12月期のGDP 1次速報(内閣府 8:50)				1月の米生産者物価指数 11月の米企業在庫 12月の米小売売上高 10-12月期のユーロ圏GDP2次速報
2/15 (金)	12月の石油等消費動向統計(経済産業省 13:30)	TB3M 43,400億円 2/18発行	10Y物価連動 4,000億円 2/18発行	国有林野借入 963億円 2/25借入	12月の米企業在庫 (延期) 1月の米小売売上高 (延期) 1月の米鉱工業生産・設備稼働率 2月のミシガン大消費者信頼感指数速報

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
2/11 (月)	建国記念の日								
2/12 (火)	500	▲ 1,500	▲ 1,000	国債買入 全店共通 CP買入 ETF買入 国債補完	▲ 7,000 ▲ 200 100	12,100 3,300 200	8,500	7,500	TB3M発行▲43400償還43000 TB6M発行▲23000償還20400
2/13 (水)	1,000	5,000	6,000				0	6,000	交付税借入▲10500期日10500
2/14 (木)	0	▲ 27,000	▲ 27,000				0	▲ 27,000	源泉税揚げ 5Y発行▲20000
2/15 (金)	0	84,000	84,000				0	84,000	年金定時払い 2Y償還13000 個人向け3Y・5Y・10Y発行▲3600 個人向け3Y・5Y償還600
週間合計	1,500	60,500	62,000	—	▲ 7,100	15,600	8,500	70,500	

2/12は日銀予想、2/13以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、15日に年金定時払いがあるものの、積み最終週となることからビッドサイドの堅調な調達が予想され、引き続き強い地合いでの推移が予想される。

レポ市場は、足元GCは週前半から週半にかけては▲0.100～▲0.075%のレンジ、週後半に新しい積み期間に入ってから▲0.160～▲0.100%のレンジでの推移と予想する。

短国市場は、15日に3M物の入札が実施予定となっている。堅調な地合いが続く中、オペのオファー額を含めて市場動向が注目される。

CP市場は、月半ばであり今週同様に落ち着いたマーケットが予想される。13日にはCP等買入オペが2,000億円予定されている。前回オペからさほど発行も膨らんでおらず、売りニーズは限定的と見られ、前回と同水準の結果が予想される。

主要なイベントとしては、国内では14日の10-12月期のGDP1次速報、海外では11日の10-12月期の英国GDP速報値、13日の1月の米国CPI、1月の英国CPIなどが挙げられる。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。